

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
進路選択	2 単位 日本語教育能力	日本語教授法Ⅲ	矢端 晴美	1 年次	秋

授業のキーワード	日本語教師 日本語学習者 模擬授業
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	日本語を実際に教えるためひよひが必要が学びます。実際の日本語学校にも見学ご行き、日本語学習者の実像、日本語教師の実像、役割、仕事の内容、待遇、現場の声 について見聞き知ってもらいます。後半では受講生一人一人に教材分析、教案作り、教具の選択、模擬授業を通して、日本語を教えることを体験してもらいます。一人1回から2回の授業を予定しています。
履修のアドバイス・ 前提科目等	日本語教授法Ⅰ、Ⅱは履修してください。先の講義で学んだことを生かし、日本語教師の模擬体験をしてみます。発表者以外の学生は 外国から日本語を学習に来ている生徒の設定です。設定の母国についての予備調査も欠かせません。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	日本語教師とは	現場の日本語教師の声から日本語教師の仕事の内容を把握する。	第9講	模 擬 授 業 (4)	10～12課
第2講	日本語学習者とは	多様化する日本語学習者を知る	第10講	模 擬 授 業 (5)	13～15課
第3講	模擬授業時に設定する学習者。	どんな背景、どんな目的で、日本語を学習するか、自分がどんな学習者になるか、決め、その国の言葉、文化を調べ発表する。	第11講	模 擬 授 業 (6)	16～18課
第4講	シラバスデザイン	初級日本語教科書「みんなの日本語初級Ⅰ」の課ごとの文型、語彙、表現を整理分析する。	第12講	模 擬 授 業 (7)	19～21課
第5講	日本語学校見学	実際の日本語の授業風景を現場で見る。	第13講	模 擬 授 業 (8)	22、23課
第6講	模擬授業(1)	入門、1～3課	第14講	模 擬 授 業 (9)	24、25課
第7講	模擬授業(2)	4～6課	第15講	模擬授業	予備日
第8講	模擬授業(3)	7～9課	評 価 方 法		授業態度30% 模擬授業とそのレポート70%
備 考 (関連する資格・試験等)		日本語教師に関心が高く、「日本語教授法Ⅰ」、「日本語教授法Ⅱ」を履修した学生が履修してください。			
使用する教科書(必ず購入してください)			参 考 文 献		
みんなの日本語初級Ⅰ本冊 スリーエーネットワーク					